

**製品名: S-100  $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17463**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	10kDa

**抗原情報**

遺伝子名	S100A1
別名	S100A1; S100A; Protein S100-A1; S-100 protein alpha chain; S-100 protein subunit alpha; S100 calcium-binding protein A1
遺伝子 ID	6271.0
SwissProt ID	P23297
免疫原	抗血清はヒト S100 A1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

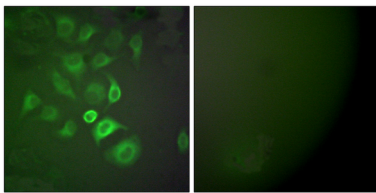
**背景**

S100 カルシウム結合タンパク質 A1 (S100A1) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、2つの EF ハンドカ

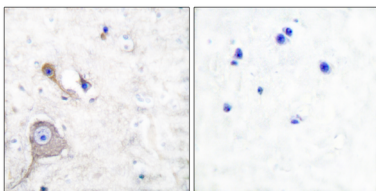
ルシウム結合モチーフを含む S100 タンパク質ファミリーのメンバーです。S100 タンパク質は、様々な細胞の細胞質および/または核に局在し、細胞周期の進行や分化など、多くの細胞プロセスの調節に関与しています。S100 遺伝子は少なくとも 13 のメンバーから成り、染色体 1q21 上にクラスターとして位置しています。このタンパク質は、Ca<sup>2+</sup>誘導性 Ca<sup>2+</sup>放出の刺激、微小管形成の阻害、およびタンパク質キナーゼ C を介したリン酸化の阻害に機能すると考えられます。このタンパク質の発現低下は、心筋症に関連していることが示唆されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: カルシウムとは弱く結合するが、亜鉛とは強く結合する。各モノマーには、両イオンに対して異なる親和性を持つ明確な結合部位が存在する。生理的濃度のカリウムイオンは、両方の二価陽イオンの結合を拮抗させ、特に高親和性のカルシウム結合部位に影響を及ぼす。、類似性: S-100 ファミリーに属する。、類似性: 2つの EF ハンドドメインを含む。、サブユニット: 2つの α鎖、2つの β鎖、または 1つの α鎖と 1つの β鎖からなる二量体。、組織特異性: 心臓に多く存在する。また、骨格筋や脳にも少量存在する。、

## 研究分野

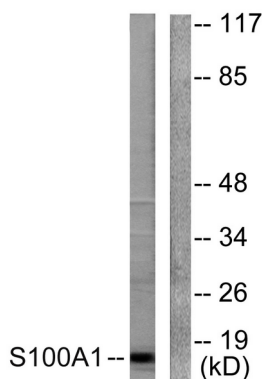
## 画像データ



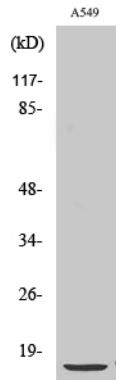
S100 A1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



S100 A1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



S100 A1 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



S-100 $\alpha$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析